

多チャンネル放送の現状

2007.9.4

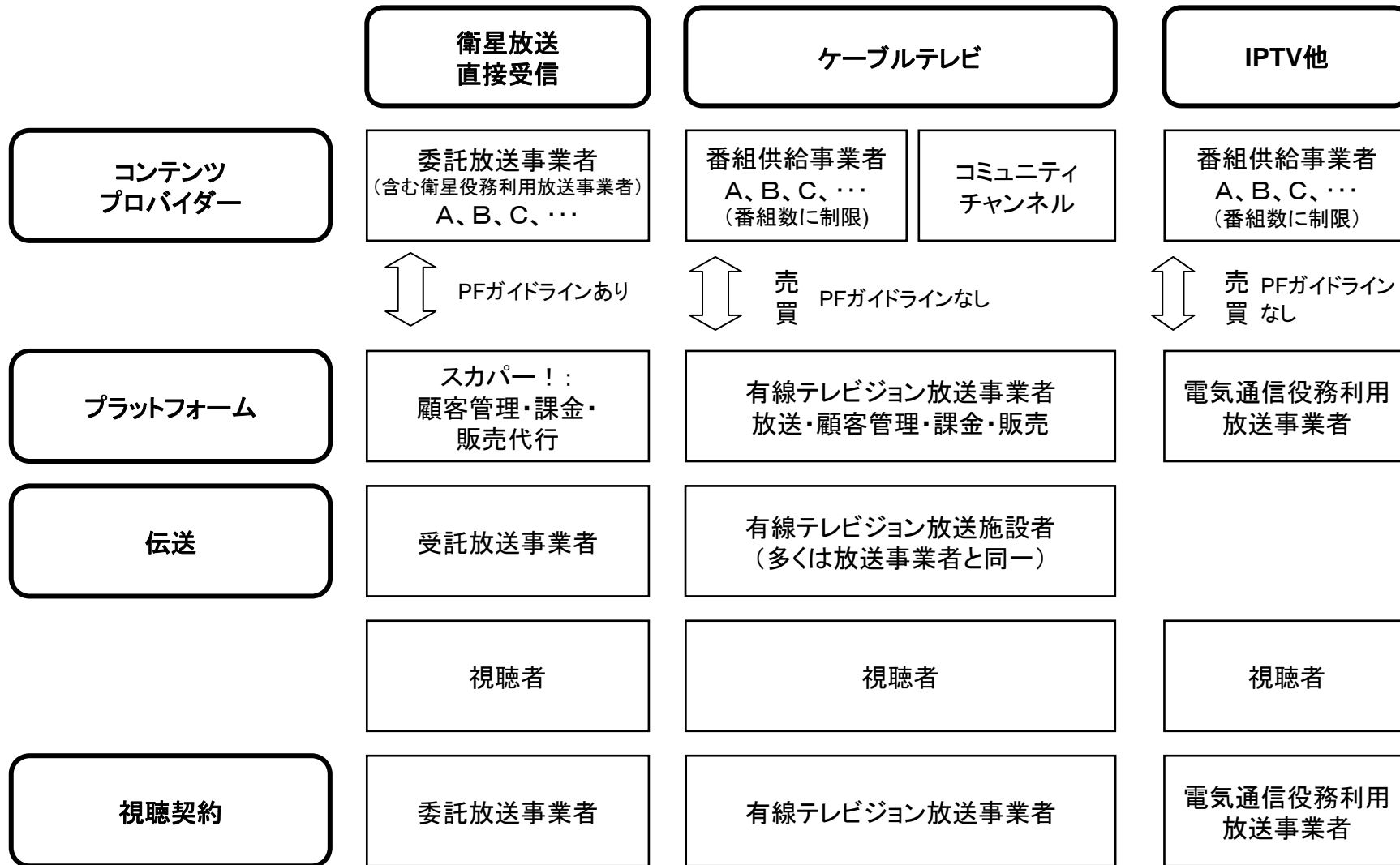
1. 多チャンネル放送の視聴世帯数(2007.6末)

■ 衛星直接受信	3,573千
	(124/128° 3,174千)
	(110° 399千)
■ ケーブルテレビ	6,309千
■ IPTV等	240千
■ 合計	10,122千

2. 多チャンネル放送のチャンネル数及び放送事業者数

- | | テレビ | ラジオ |
|-----------------------|---------------------------|------------------------------------|
| ■ 衛星直接受信 | 254
(124/128°
(110° | +100
188 +100)
66 : 多くはサイマル) |
| ■ ケーブルテレビ | 20~50 | |
| ■ IPTV等 | 40~60 | |
| ■ 放送事業者(内衛星役務利用放送事業者) | | |
| (1) 124/128° | 102(52) | |
| (2) 110° | 16(0) | |

3. 現在の放送の仕組み



4. 衛星放送事業者の収入

- 現在：(1)衛星直接受信による視聴料収入
(2)ケーブルテレビへの番組販売
(再送信)
(3)広告収入
 - 将来：上述に加えてIPTV等への番組販売
-

5. 衛星放送事業者の市場環境

- 衛星直接受信
 - (1) 加入者増加の停滞
 - (2) HD化を含むコンテンツ強化への対応
 - ケーブルテレビ
 - (1) 収容可能番組数の制限
 - (2) 共同購入の増加と大規模MSO
-

6. 新制度

- 衛星放送における委託放送事業者・衛星役務利用放送事業者の制度は維持されるのか或いは変更されるのか？
 - 衛星放送では、放送事業者、ケーブルテレビ及びIPTV等では番組供給事業者(ただし再送信)となり、視聴者との関係が異なるが、この関係は維持されるのか或いは変更されるのか？
-